

# 地方創生事業評価シート

	担当課名	経済産業課	事業No.	1
事業名	もうかる農林水産業の実現に向けた「とくしまブランド」戦略			
目的	農林水産物の活用ともうかる産地づくりのため、県・市町村・産学金で「徳島6次産業化推進連携協議会」を構成し、オール徳島体制での6次化商品の開発や販路開拓に取り組む。			
実施内容	協議会において次の事業を実施。【地方創生推進交付金事業】 1)産地商談会の開催による商談等の機会の創出 2)展示商談会への出展の支援 3)商品開発及び商品改良の支援			
重要業績評価指標(KPI)	指標	6次産業化による商品化数		
	目標	15件(H27~31) ← 2件(H22~26)		
	実績	10件(H27~30)		
達成度	A:達成      B:概ね達成 <b>Ⓒ</b> :未達成			

## 【事業費と財源内訳】

(単位:円)

平成30年度	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費	1,000,000	832,890	416,445	事業費の1/2

## 【平成30年度の取組と課題】

協議会の構成員	農林水産関係(徳島県農協中央会ほか7団体) 商工・経済関係(徳島県商工会議所ほか4団体) 金融関係(徳島県信用野業協同組合連合会ほか3団体) 学術・教育関係(徳島大学) 行政関係(徳島県ほか11団体)
1)産地商談会開催	視察先 県内6次化商品等を扱う8事業者(藍住町:阿藍) 参加者 首都圏から10社12名のバイヤー
2)展示商談会への出展の支援(スーパーマーケットトレードショー)	県内から27社が出展(藍住町2事業者)し、88412名の来場があった。
3)商品開発及び商品改良の支援(4団体)	藍住町にんじん需要拡大協議会が四国大学と連携し、にんじんパウダー・フレークを使った新しいレシピを開発。

## 【今後の取組】

徳島県6次産業化戦略に基づき、新商品開発、販路開拓、人材育成、農林漁業者と2次・3次事業者との交流を支援していく。
---

## ※藍住町地方創生推進会議の意見

<p>○取組件数を伸ばしていくことも大事であるが、商談がどうまとまって販路拡大につながったかが本来のKPIになるべき。次のステップに向けた検討が必要。</p> <p>○新商品開発の後、何年でどこまでやるのか見通しをたてるべきでは。</p> <p>○藍の産地であることを活かして、染め以外の分野で商品開発をしてはどうか。</p>
---